

緊急アンケートまとめ。一部は原文のまま転載しています。

感染予防として取組

居宅

- 担当者会議は家族希望の場合のみ開催。照会が主
- モニタリングは短時間に玄関で済ませる。
- 電話で家族にモニタリング
- 会話時の距離
- 社内連携を、携帯+メール→グループ LINE+Skype
- ① 職員体調管理：毎日の体温を個人管理の体温表へ記入。休みの日も記入。
- 更に部署で管理している表へ記入し、部署長が確認している。
- 感冒症状等あれば体調不良報告書へ記入。本人は休みを取るように徹底している。
- ② ご利用者体調確認：サービス利用前に体調確認。感冒症状があれば利用中止。
- 体調不良報告書で理事長へ提出。介護者も体調不良の場合も同様。
- サービスを併用している場合は特に注意している。
- ③ 消毒：個人個人がステリパワーの消毒を携帯。更に手洗いの徹底。パソコンは使用する前・後にキーボードをステリパワーで消毒する。
- ④ 換気：空気の流れを考え開閉している。
- ⑤ 勤務：柔軟に、認定調査、電話調整は法人携帯を使用し、自宅対応。
- 事務所が3密空間にならないように、入力業務は、室内に5人程度での作業としている。
- 机に1～2名程度が望ましいとしている。
- ⑥ 認定調査：市へは郵送で提出。
- 休憩：他の部署と交流がないように、出入りする職員の集まる空間と限定。
- 3密空間にならないように、マスクを外し食べるので、長時間滞在しないように警告している。
- 座る位置も考えて、考えのない職員へは声掛けをする。
- 机も対面しないように窓へ向け配置。
- ⑦ 掲示：「フェニックスエチケット」「三密空間の防止」など、食堂、更衣室、ステーションへ掲示。
- ⑧ 外国人スタッフ：体温表、掲示内容を英語バージョンで作成し配布。
- ⑨ 最新情報の共有：常にメール等での配信。感染担当スタッフはチャットにより、素早い情報交換。
- ⑩ 今後起こりえる状況を想定し、患者、職員、物品等の現状の把握とシミュレーション。
- ⑪ 施設：面会中止（看取りの方へは配慮）認定調査も、ガラスごし等で動きを確認し

てもらっている。

- ⑫ 職員の動き：休憩等と同じで人の交流は限定されている人のみとしている。
- ⑬ 建物内をテープで感染エリア、清潔エリア、グレーエリアにわけている。

訪問

- 定期受診の電話受信、代理受診

通所

- 消毒換気など基本的な対策しかできてない
- 外部者は玄関外で対応
- 利用者、家族への注意喚起、チラシ配布
- 研修会や外部との接触機会を自粛、延期
- ボランティアサロン中止
- 全利用者へのマスク着用利用

今後の想定と準備

居宅

- ケアマネ自身自宅で、テレワーク
- カンファ等修了後は直帰する
- 今のところ特に考えていない
- 具体的にどうするという事までは決めていません。
- 家族や利用者と、サービス中止時に家族介護になる場合、他のサービスを話し合い
- 小規模、通い、泊り閉鎖に伴い、訪問への切り替え想定、訪問枠拡大
- アンケート実施（デイ2週間停止を想定）

訪問

- 利用者のリストアップ、独居かつ身体介護や食料の買い物が必要不可欠な方
- 現対応継続
- 個室対応（入居施設のため）

通所

- 緊急事態の中でどこまでが必要とされるサービスなのか、線引きが難しい。（入浴の必要性など）
- 事前の家族通知、感染者発症時は全面休止する
- 法人内での連携、想定の会議
- ディスタッフが独居への安否確認を二回/日、検討
- ショート帰宅困難者の人数把握、家族へ手紙
- 通所利用できない時に自社グループでの配食が出来ないか検討。
- デイ閉鎖時利用者の取り巻く環境の確認アンケート。（家族の在宅見守り状況・困りごとなど）

対応による加算困難、減収内容

居宅

- 利用控えでプラン数減少、減収。
- 訪問調査を中止した、その分減収

訪問

- 利用控えにより減収、通所に行かないことで、送り出しが無くなる

通所

- デイ利用控えにより大幅減収。4/10 現在延べ 100 名減少
- 1 名 3 月より利用自粛。1 名週 3 回利用から週 1 に変更。1 名 3 月中のみ利用自粛。2 名 4 月 10 日からしばらく利用自粛開始。…すべて家族からの意向。3 名サ高住からの外出規制により利用自粛

困りごと、要望

- 認定調査の今後、特に病院先での対応、耳元で対応
- 通所、ショートの開鎖は早期に連絡が欲しい
- 行政からの介護サービス自粛要請で、各法人で対応が違くと利用者様が混乱するため、具体的にサービス種類ごとの営業の可否を統一して発信してほしい。
- ご家族のみ発症された場合、利用者様は、濃厚接触者としてサービスが利用できないと思われるが、他に頼れる身内がない場合の対応に困る。
- デイサービス閉鎖となった場合、訪問介護も行ってもらえない可能性が想定される。その場合、独居の方で特に近く近親者がいない方の場合に不安を感じている。
- サービス閉鎖の間、医療依存の高い利用者への対応が困難
- 自治体独自の休業補償
- 他の市町村で実際に会った事例などを通しての分析を市が行うか、教えてほしい。
- 消毒液の確保、マスクの不足、その先の不安
- 事業所内での集団発生が心配。常に緊張感があり対応にスタッフのストレス過多
- 名古屋のような休業要請が出た場合の補償
- 有料老人ホームの面会制限をお願いしたが受け入れて頂けないご家族があり困っている
- モニタリングなどの訪問をするか、しないか各事業所にある程度委ねられている所が悩みです。しないとか決まっていればそのように…。でもそんな風に決めず、ケースバイケースで対応しなくてはいけないのが一番の悩みです。
- 臨時的な取り扱いの明確な要件が把握できてない。
- 認知症のある方に感染予防の協力が得難い
-

居宅:退院カンファ制限の対応策

- 電話連携を密に、回数を増やした
- 医療機関からの情報をもっと欲しい
- カンファレンスを開催するが、事前に共有して短時間に終了

居宅:利用者さんのトリアージ

- 今のところ何も考えていない、デイの閉鎖だけは回避してほしい。
- 各務原市閉鎖なら隣の市にお願いしようと考えている
- 話し合っていない、自宅待機しかないのでは？
- デイ、ショート閉鎖を想定、食事、排せつの家族介護が確保できないケースを検討
- 配食サービス利用者にデイ閉鎖時の追加配食を手配済み
- ショート利用の制限を受けて、長期利用への変更をした
- 自社との調整はうまくできているが、他事業所はまだ不十分
- 独居方は想定時に特例的に認めてもらうように事前に要請した
- 他の法人のデイが閉鎖になった場合、自社のデイを利用させて頂く許可を得ている

訪問:デイ、ショート閉鎖時の訪問の新規受け入れの可否

- 不可能（多数意見）
- 多少の枠はあります。（空き時間）

訪問:家族のコロナ感染時の訪問サービスは可能か？

- 不可能（多数意見）、提供お断り
- 家族もおらず、身体介護でなければ正詩に関わる場合のみ、防護服、ゴーグルなど用意して訪問する可能性あり
- 状況により判断

訪問:現時点で事業所側からサービス頻度を減らす提案は？

- 事業所側からはしてない（多数意見）
- 発生時や要請時の対応を書面で事前通知
- 定期の病院受診を電話対応してもらった

訪問:利用者からサービスを断られたケースは何件？

- 1件/2件/3件/4件/1割/有償輸送10件

訪問:テレワーク導入

- 事導入できず、難しい
- 自宅から電話での体調確認を行っている
- 請求事務は、ソフトが対応してないからできない

訪問:マスクや消毒液等の工夫

- あと少ししかない、無くなったら石鹸でとにかく手洗い
- 厚労省のマスクは、利用者さんに配りました
- 布マスクを手作り、洗濯利用
- 消毒液の作り方がわかれば教えてほしい。
- 職員が購入できたマスク余剰分を会社で買い取り

通所:施設内での集団発生想定への対応策は？

- 近隣同社施設からの職員応援
- 法人マニュアルの策定
- 医師の診察方法、どこで、誰が、どのようにケアするかを事前に決めている
- 保健所の指示に従い対応
- 個別に代替サービスの事前検討
- 事業所のサービス短縮や自粛想定時において、家族様での介護力等含めた情報収集アンケートを実施、し不測の事態に備え可能な限り事業所で可能な介護サービス範囲の明確化に向けて動いている。
- 入所、安全・感染とエリアでの隔離閉鎖。職員パターン・固定対応勤務実施

通所:想定される極端な職員不足

- 法人内施設からの職員派遣
- 閉鎖します
- 利用者の帰宅・閉鎖・職員自宅待機
- 通所では、現時点でも保育園・放課後デイサービス休業により看護師二名欠員が見られている。入所も数人同様…デイ休業分を特養内での動きを行えるか、勤務時間・日数延長できるか確認・調整中。館内規模にもよるが、要請が必要となるかも…看護職員が感染・自宅待機となった際は介護職員では代用できない所もあり困難となる。
- 入浴、送迎時間などの一部サービス利用中止を想定（事前に書面で家族に伝達済み）

通所:自由記述

- おそらく岐阜県で発令された非常事態宣言を受け、学校休校延長等でさらに人員不足に拍車がかかると同時に、社会福祉施設の中で、通所介護サービスは最初に営業自粛を求められると考える。実際に訪問サービスを行いご利用者様のサービスを維持したとしても、会社としての収益悪化は逃れようのない事実であるなか、行政としてどれだけ補助してくれるのかを明示されないと営業自粛にも踏み切れない現状ではないかと考えます。
- 二月末の時点で会社の指針を利用者様、スタッフに配布（スタッフは数回見直し）今回非常事態宣言が出されたため、再度利用者様の依頼などを誌面にて配布予定（4/13）
- 個人的な意見ですが、コロナに対する取り組みは国は遅いと思われます。まずは一気にいろいろなことをして後からリスクが低いところから緩和するなど、各務原市も迅速に物事を決めて行ってほしい。最低限の犠牲はあるが、見えない敵と戦うにはそのくらいの勢いが必要です。
- 市内において保育園や学童等の「自粛要請」又は「休止」に伴い、特にパート職員の休業により業務が円滑に回らない現状。近隣のコミュニティーセンターやボランティア等でそのような休止に対しての例外的な対応があれば助かる。